

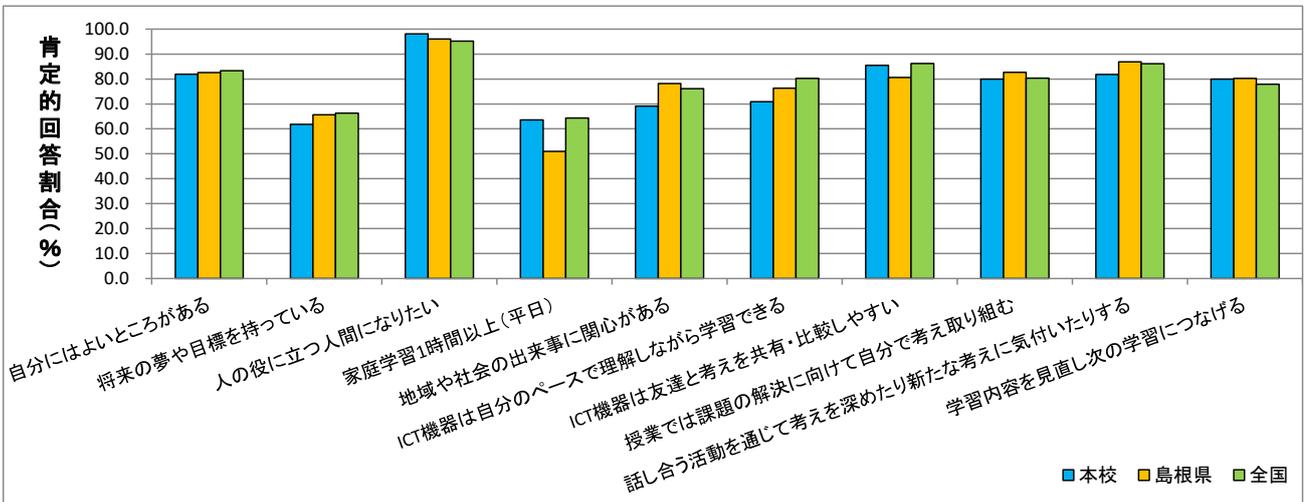
(1)学力調査結果から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対策(・)
国語	○平均正答率は全国平均を上回った。 ●無回答率は高い。	・1時間完結の記述練習の授業を複数回実施する。
数学	○すべての領域において、正答率は全国平均を上回っている。 ○図形証明において、筋道を立てて証明を進める問題の正答率が高い。 ●関数領域で、式やグラフを用いて、答えを導く方法を説明する問題の正答率が低くなっている。	●問題文の内容をしっかりと理解してから問題解決に取り組めるよう、グラフ、図、問題文を丁寧に読み取る活動を取り入れていく。

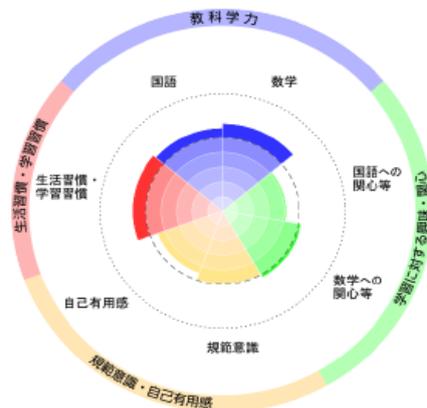
(2)質問紙調査から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対策(・)
質問紙	○家庭学習の時間が県平均を上回っている。 ○ICTを活用して友達との考えを共有したりすることを前向きにとらえている。 ●自分を肯定的にとらえたり、将来への展望を考えることについて全国平均を下回っている。 ●地域や社会の出来事への関心が全国平均を下回っている。	・進路学習を進め、自身のよさや強みに気づけるような取組を行う。 ・学校を上げて取り組んでいるICTの活用を継続する。 ・自分で考える場面を多く設定し、自己決定の場を多く設ける、

(3)質問紙調査結果より(学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています。)



(4)学力・学習状況調査結果チャート(破線は全国平均)



(5)その他、今後特に力を入れて取り組むこと

自分の生活している地域や社会のことに関心を持たせるために、地域の文化祭ボランティアや清掃ボランティアなどへの参加を呼び掛けていく。公民館との連携も欠かさず行う。リーディングDXスクール推進校である強みを生かし、ICTを効果的に活用した授業づくりを行う。

【受検者数】

55 名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。